

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	環境美化	コード	作成者	役職	環境課長
		01-02-02	氏名	山本 健次	
			電話	64-1822	

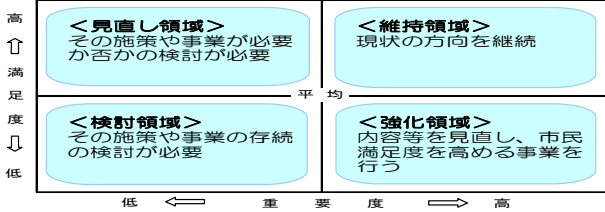
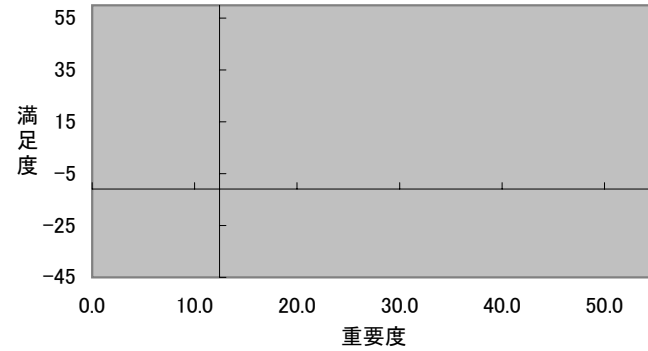
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	自然と共生するまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	清潔で快適な暮らしを求める市民のため、関係団体との連携のなかで、快適な生活環境の保持と環境美化の推進を図る。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	不法投棄等は年々減少しているものの、マナーの欠如によるポイ捨ては後を絶たないのが現状であり、関係団体と連携しながら、より一層環境美化を図る必要があります。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境美化活動の推進</li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> </ul>

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)				
満足度(%)				



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民から、公共マナーの向上を図るべきという意見があった。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H20
成果指標 不法投棄の件数	目標	件	20	20	20	H21	20
	実績	件	21	31	26	H23	20
	達成率	%	95.2	64.5	76.9	H28	20
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 放置自転車撤去台数	目標	台	30	30	30	H21	30
	実績	台	33	35	46	H23	30
	達成率	%	90.9	85.7	65.2	H28	30
	ベンチマーク					-	-
参考指標② ごみの減量化、資源化に取り組んでいる市民の割合	目標	%	90.0	90.0	90.0	H21	90.0
	実績	%	84.1	87.3	87.5	H23	90.0
	達成率	%	93.4	97.0	97.2	H28	90.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標③	目標					H21	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の 性質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース
				平成18年度			平成19年度			平成20年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1 放置自転車・自動車対策事業	B	放置自転車対策事業	単市	0			0			179	436	0.07	☆☆☆	その他	198
		放置自転車対策事業	単市	0	1,250	0.34	0	869	0.11	0	569	0.10	☆☆☆	その他	0
		使用済自動車等海上輸送費補助金	単市	0			0			0	58	0.01	☆☆	その他	0
2 環境衛生事業	B	環境衛生指導委員会事業	単市	2,000			2,815			3,702	2,473	0.31	☆☆☆	その他	3,696
		環境衛生事業	単市	2,342			2,300			816	2,487	0.31	☆☆☆	その他	315
		不法投棄処分事業	単市	184	11,405		119	8,795	1.01	298	1,173	0.16	☆☆☆☆	その他	200
		個人墓地経営許可事業	単市							0	539	0.08	☆☆	人件費のみ	0
		諸島地区汲取り支援事業	単市	72			108			47	0	0.00	☆☆☆	その他	132
		諸島地区葬祭事業費補助金	単市	0			96			80	0	0.00	☆☆	その他	80
		県環境衛生協会東備支部負担金	単市	361			402			402	0	0.00	☆☆	その他	402
		日生地区清掃支援事業	単市	195			61			70	0	0.00	☆☆☆☆	その他	61
		東備食品衛生協会助成金	単市	100			100			80	0	0.00	☆☆	その他	80
		苦情処理事務	単市							0	0	0.00	☆	その他	0
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成18年度	平成19年度	平成20年度						計			
				5,254	12,655	0.34	6,001	9,664	1.12	5,674	7,735	1.04			5,164

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	3	環境衛生指導委員会や市民のボランティア活動など、多くの市民が参画しており妥当である。	3	快適な生活環境の保持と環境美化のための事業であり、市の関与は妥当である。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	3	環境美化の推進事業として妥当である。	3	環境美化対策事業であり、事業構成は妥当である。
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	3	ごみの減量化、資源化に取り組んでいる反面、不法投棄の件数や放置自転車の撤去台数が増加しており、有効な対策を検討する必要がある。	3	ごみの減量化、資源化に取り組んでいる市民の割合(市民意識調査)が上がっており、有効な施策である。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	環境衛生指導委員と連携しながら、地域の実情を考慮しつつ、環境美化の推進を図ること。防疫事業は、薬剤の配付および機器の貸し出し等について見直す必要がある。		快適環境への意識機運を促し、協働のまちづくりを推進していくこと。	
二次評価者コメント	環境美化については、地域ぐるみで手軽に取組めるよう、各種団体等の活動を通して推進を図っていく必要がある。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
役職 民生部長 氏名 山口 和夫			3中立	平均的な配分